

海上自衛隊 第1術科学校 教育参考館 (広島県江田島市)



第1術科学校には、様々な歴史的建造物や教育施設等があります。

昭和11年(1936年)に建設された「教育参考館」は、旧海軍時代の資料等が多数保管・展示されています。見学は、事前の申し込みが必要となります。見学を希望される方は、海上自衛隊第1術科学校のホームページをご確認ください。



詳しくは防衛省ホームページ(QRコード)で御覧頂けます。

防衛省職員  
採用情報 ⇒



## 目次

- 2 海上自衛隊呉史料館維持管理運営事業(展示物等の更新)
- 4 小型無人機等飛行禁止法に基づく対象防衛施設の指定について
- 5 認定こども園・子育て支援センター完成(広島県大竹市)
- 6 航空自衛隊美保基地への空中給油・輸送機(KC-46A)の2号機の納入について  
第77回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催
- 7 陸上自衛隊 装備品の完成出荷式(広島県広島市)  
海上自衛隊 油槽船の進水式(愛媛県今治市)
- 8 陸上自衛隊 第13旅団長 御挨拶  
海上自衛隊 第1術科学校長 御挨拶
- 9 海上自衛隊 幹部候補生学校長 御挨拶  
海上自衛隊 練習艦隊司令 御挨拶
- 10 広島大学(東広島キャンパス)での総務部長による講義の紹介  
中国四国防衛局 人事異動の御挨拶(令和4年1月14日付)
- 11 中国四国防衛局 総務部の紹介・職員日記(総務部)
- 12 中国四国防衛局 広報誌編纂委員の旅日記





# 海上自衛隊呉史料館維持管理運営事業(展示物等の更新)

海上自衛隊呉史料館(愛称:てつのくじら館)は、海上自衛隊にゆかりの深い広島県呉市の中心部に、国内で唯一の実物の潜水艦を展示する施設として、PFI事業により維持管理運営を行っています。

この度、よりわかりやすい展示となるよう、老朽化した機器の更新や展示物等の改修を行いました。初めての方はもちろん、以前お越しいただいた方にも、新たな「てつのくじら館」を感じていただけるものとなっています。

## 展示物等の改修の概要

### ○正面受付

グラフィックを更新し、従来のカラーを一新しました。

併せて、「海上自衛隊の歴史」や「自衛隊」について、わかりやすく説明する新たなパネルを設置しました。



### ○授乳室の設置

来館者の皆様からご要望が多かった「授乳室」を1階に設置しました。

小さなお子様をお連れの方も安心して来館いただければと思います。

ご利用の際は、お気軽にスタッフにお声かけください。



### ○映像機器の更新

大型液晶テレビの設置や説明機器を更新することにより、見やすい映像とわかりやすい情報を提供します。

従来パネルのみの展示となっていた「あきしお陸揚げドキュメント」を動画で視聴することができます。



呉港を望む(3階)



士官公室(潜水艦内)



# 海上自衛隊呉史料館維持管理運営事業(展示物等の更新)



○音声ガイドシステムへの導入  
 多言語音声ガイドアプリを導入しました。コロナ禍にも適した非接触型の音声ガイドシステムとなっており、各展示をわかりやすく説明します。



## 新たな運営業務の概要

○制服試着体験コーナーの設置  
 自衛隊のイベント等で人気の高い、制服試着体験コーナーを設置しました。  
 ※開催は不定期となります。  
 また、フォトスポットとして利用できるよう艦艇等が写ったバナースタンドも用意しています。



○屋上の開放  
 自衛隊記念日など特別な日に、万全の安全対策を実施した上で、屋上を開放します。  
 当館から見える美しい呉港の風景や、「潜水艦の背中」を間近で見ることができます。

○その他、各種展示パネルの更新、潜水艦内の照明のLED化、ベッドカバー等の張替など、細部にわたり、改修を実施しました。



### 海上自衛隊呉史料館 つづのくじら館 JMSDF KURE MUSEUM



広島県呉市宝町5番32号 (JR呉駅から徒歩5分)

- 開館時間: 10時00分から18時00分  
(現在は新型コロナウイルス感染症対策のため、入替制による見学。)
- 休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌日休館)
- お問い合わせ: 0823-21-6111

<https://www.jmsdf-kure-museum.go.jp/>

つづのくじら



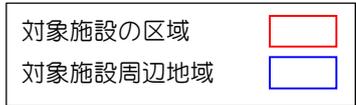


# 小型無人機等飛行禁止法に基づく対象防衛施設の指定について

防衛省は、重要施設の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律（平成28年法律第9号）に基づき、対象防衛関係施設を順次指定しており、令和3年12月20日、当局管内においては、自衛隊施設2施設（航空自衛隊高尾山分屯基地、航空自衛隊土佐清水分屯基地）が新たに指定されました。

対象防衛関係施設及びその周辺の地域の上空における小型無人機等（ドローン等）の飛行は原則禁止であり、飛行を行おうとする場合には施設管理者の同意を得る等所定の手続が必要です。

## 航空自衛隊 高尾山分屯基地



## 航空自衛隊 土佐清水分屯基地



本件に係る詳細は、防衛省のホームページをご参照ください。  
<https://www.mod.go.jp/j/prsiding/law/drone/index.html>



### 中国四国防衛局管内における対象防衛関係施設(令和3年12月20日現在)

対象防衛関係施設	問い合わせ先	対象防衛関係施設	問い合わせ先
陸上自衛隊海田市駐屯地	082-822-3101	航空自衛隊美保基地	0859-45-0211
陸上自衛隊善通寺駐屯地	0877-62-2311	航空自衛隊防府北基地	0835-22-1950
海上自衛隊呉地方総監部	0823-22-5511	航空自衛隊高尾山分屯基地	0852-72-2226
海上自衛隊岩国航空基地	0827-22-3181	航空自衛隊見島分屯基地	0838-23-2011
海上自衛隊小松島航空基地	0885-37-2111	航空自衛隊土佐清水分屯基地	0880-85-0266
海上自衛隊徳島航空基地	088-699-5111	情報本部美保通信所	0859-45-0211
海上自衛隊小月航空基地	083-282-1180	岩国飛行場 (基地窓口)	0827-79-4888
		(防衛局窓口)	082-223-8324
		呉第六突堤 (防衛局窓口)	082-223-8324

※下線は、令和3年12月20日に指定された施設

※ご不明な点がある場合は、対象施設にお問い合わせください。



## 認定こども園・子育て支援センター完成(広島県大竹市)

令和4年4月開設予定の認定こども園・子育て支援センターが完成しました。

この施設は、認定こども園(なかはま保育所と立戸保育所の統合移転)と子育て支援センター(どんぐりHOUSEを移転)を併設した、大竹市における新たな子育ての拠点として整備されたものです。なお、本施設の愛称「にじいろこども園」は、公募の手続きを経て、応募総数33件から選定され決定したものです。

本施設の整備にあたり、防衛省の騒音防止対策事業及び再編交付金事業が活用されました。

中国四国防衛局としては、今後も防衛施設と周辺地域との調和が図られるよう、防衛施設周辺の皆様方の生活環境の改善のため、各種施策の実施に取り組んでまいります。



本施設は防衛省の補助事業により整備しました。



※ 地理院地図(電子国土web)を加工して作成



写真提供：大竹市

### 【施設概要】

- 構造：鉄骨2階建
- 延べ面積：2,947.89㎡

- ★ 認定こども園  
0～2歳保育室、3～5歳保育室、遊戯室等
- ★ 子育て支援センター  
子育て支援ルーム、親子ラウンジ、調理実習室等

- 総事業費：約10億9,900万円
- 総補助額：約4億3,300万円
  - うち騒音防止対策事業：約1,300万円  
(令和2年度～令和3年度)
  - うち再編交付金事業(基金)：約4億2,000万円  
(平成30年度～令和3年度)



## 航空自衛隊美保基地への 空中給油・輸送機(KC-46A)の2号機の納入について

我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増す中、南西地域の防衛体制の強化を始め、各種事態における実効的な抑止及び対処を実現し、我が国の防空を全うするためには、海上優勢及び航空優勢の確実な維持が前提となります。



このため、防衛計画の大綱・中期防衛力整備計画において、戦闘機部隊、警戒航空部隊等が各種作戦を広域かつ持続的に遂行し得るよう、増強された空中給油・輸送機部隊を保持することとしています。

これまで空中給油・輸送機KC-46A 6機の取得に要する経費が計上されています。令和3年10月29日に初号機が航空自衛隊美保基地へ納入され、このたび、令和4年2月24日に、2号機が納入されました。



## 第77回 岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会開催

中国四国防衛局は、令和3年11月29日、第77回岩国飛行場藻場・干潟回復調査研究委員会をホテルセンチュリー21広島にて開催しました。



委員会開催状況

同委員会は、岩国飛行場滑走路移設事業に伴い消滅した藻場・干潟を回復させることについて、専門的な知識を持つ学識経験者から、必要な検討、指導や助言を得つつ進めるために、平成8年9月に設置されたものです。

前回、第76回の委員会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各委員に審議資料を配付した上で、書面形式で行われましたが、今回は、コロナ禍が落ち着いた時期であったことから、全委員及びオブザーバー出席の下、開催することが出来ました。



委員会審議状況



岡田光正委員長(広島大学名誉教授)

今回の委員会では、令和3年1月から同年6月までの周辺藻場・干潟における環境調査及び藻場・干潟回復モニタリング調査の結果が報告され、委員会での承認を得るとともに、今後のモニタリングの調査方針が示されました。



## 陸上自衛隊 装備品の完成出荷式

令和4年2月8日、広島県広島市に所在する(株)日本製鋼所広島製作所において、19式装輪自走155mmりゅう弾砲の量産型初号機並びに、99式自走155mmりゅう弾砲の最終号機の完成出荷式が行われました。

式典には、今給黎局長、松永陸上自衛隊第13旅団長、新本日本製鋼所執行役員、青山広島製作所所長ほか、関係者約40名が出席し、粛々に行われました。



写真提供：(株)日本製鋼所広島製作所

19式装輪自走155mmりゅう弾砲の量産型初号機と、99式自走155mmりゅう弾砲の最終号機が並んで出荷式を迎えることができましたこと、関係者の皆さま方に御礼申し上げます。

### 99式自走155mmりゅう弾砲

諸元・性能

- 乗員：4人
- 全備重量：40.0ト
- 全長：11.3㍍
- 全幅：3.2㍍
- 全高：4.3㍍
- 速度：49.6km/h
- 備考：師団特科連隊などに配備され、

近接戦闘部隊を支援する。  
平成11年度から調達を開始。



### 19式装輪自走155mmりゅう弾砲

諸元・性能

- 乗員：5人
- 全備重量：25.0ト以下
- 全長：11.2㍍
- 全幅：2.5㍍
- 全高：3.4㍍
- 速度：90.0km/h以上
- 備考：トラック一体型のため高速で自走でき機動性に優れている。

令和元年度から調達を開始。



※諸元・性能は、自衛隊装備年鑑2021-2022から参考引用



## 海上自衛隊 油槽船の進水式

令和4年2月2日、愛媛県今治市に所在する(株)新来島波止浜どっくにおいて、YOT-02(4900トン型)の進水式が行われました。昨年10月に進水したYOT-01に続く2隻目の油槽船進水となります。

式典には、星防衛装備庁艦船設計官、石田呉警備隊司令、(株)新来島どっく等の関係者が出席し、粛々に行われました。

(株)新来島どっくは、今回初めて防衛省艦船を受注し、海上自衛隊初となるこれら油槽船2隻の建造を進めております。

YOT(油槽船)は、一般的にタンカーといわれる船であり、離島などへの油の輸送の任務に従事します。

今後、艤装及び海上公試を行ったのち、1番船であるYOT-01は本年4月、YOT-02は本年7月に、海上自衛隊呉基地に配属される予定です。



集合写真(中央：星艦船設計官)



YOT-02の進水



まつなが やすのり

## 陸上自衛隊 第13旅団長 松永 康則 陸将補 御挨拶



令和3年12月22日付で、第14代第13旅団長に着任しました松永です。風光明媚な中国地方の、長い歴史と伝統のある海田市駐屯地で勤務することを光栄に思うとともに、中国5県の防衛警備や災害派遣を担当する者としてその任務の重要性と責任を強く感じております。

さる平成30年7月に発生した豪雨災害においては、当時、兵庫県伊丹市にある中部方面総監部で幕僚副長として勤務しており、広島県庁に設置された対策本部において約一ヶ月ほど活動しました。

第13旅団には約4000名の隊員がおりますが、中国地方750万人の生命・財産を守るためには、自治体・関係機関及び地域の皆様と心をつなげた連携が必須となると考えております。最後に、本誌読者の皆様のご健勝を祈念いたしますとともに、第13旅団の活動に対するご理解とご協力をお願いし、着任の御挨拶といたします。



陸上自衛隊第13旅団のホームページにはこちらのQRコードでご覧頂けます。



海田市駐屯地「三矢の訓え」庭園



総合戦闘射撃



防衛警備訓練



しらね つとむ

## 海上自衛隊 第1術科学学校長 白根 勉 海将補 御挨拶



勤務方針:「錬磨 発展」

令和3年12月22日付で、海上自衛隊第1術科学学校長として着任しました白根です。

第1術科学学校は、射撃、水雷、船務、航海、気象、通信、電子、掃海機雷、運用、応急、潜水、警備、体育等多岐にわたる術科教育を行っており、年間約2600名の隊員が修業し海上防衛の最前線で活躍しています。海軍兵学校が明治21年（1888年）に東京の築地から移って以来、数多くの海軍士官を輩出してきた江田島の地で、今日も良き伝統を継承しつつ、数多くの幹部自衛官及び海曹士自衛官が多岐にわたる任務に応じ得る高度なスキルと、強い精神力、体力を身につけるべく努力を重ねています。

現在、我が国を取り巻く安全保障環境は不透明かつ不安定であり、グレーゾーン事態への対応など緊張した状態が継続しています。海上自衛隊の任務も広範多岐にわたり、活動範囲も拡大しつつあります。このため、第1術科学学校に課せられる任務は極めて重要であり、術科力の「錬磨」と組織力の「発展」を勤務方針とし、日々職務に邁進しています。今後とも、御理解と御支援を賜りますよう、よろしく申し上げます。



大講堂での式典（校長年頭訓示）



江田島湾で実施する遠泳訓練



学生による手旗信号発信訓練



海上自衛隊第1術科学学校のホームページにはこちらのQRコードでご覧頂けます。



かじもと だいすけ

## 海上自衛隊 幹部候補生学校長 梶元 大介 海将補 御挨拶



令和3年12月22日付で、海上自衛隊幹部候補生学校長を拝命した梶元将補です。皆様には、平素から候補生に対する御支援、御協力を賜り、深く感謝申し上げます。本校は、海上自衛隊の聖地とも言える広島県の江田島に所在しており、学校の玄関である表棧橋に船で着任した瞬間、幹部候補生の整然とした出迎えの列、昔から変わらない赤レンガを前にして、自然と襟を正したことを覚えています。

本校の教育は、「幹部自衛官としての資質」と「初級幹部として必要な知識・技能」の習得を目標とし、日々の教務、鍛錬を行っております。コロナ渦ではありますが、幹部候補生は日々の生活や訓練に全力で取り組んでおります。

良き伝統を受け継ぐとともに、変化する時代と情勢の荒波を乗り越える「実力・人格・体力」を備えた幹部自衛官を育成すべく幹部候補生教育にまい進する所存です。引き続き、皆様からの温かい御支援、御協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。



着任訓示



幹部候補生学校庁舎※通称：赤レンガ



候補生の生活がご覧いただける公式SNSはこちら！



こむたしゅうかく

## 海上自衛隊 練習艦隊司令 小牟田 秀覚 海将補 御挨拶



令和3年12月22日に練習艦隊司令官を拝命した小牟田です。練習艦隊は、直轄艦である練習艦「かしま」、第1練習隊の練習艦「はたかぜ」「しまかぜ」により編成され、洋上にて各種訓練を実施し、艦艇乗組員を育成することを主たる任務としています。

近年我が国を取り巻く安全保障環境は急激に不確実性を増し、海上自衛隊が担う役割や活動場面も広がっています。様々なことが急速に変化する時代であり、あらゆる状況に柔軟に対応することが求められています。洋上での訓練を通じて、失敗を恐れず挑戦する気概や諦めない精神である「敢闘精神」を発揮できる艦艇乗組員の育成に努めます。

引き続き皆様の御理解、御協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。



各国との親善訓練



防水訓練を実施する実習幹部



オーロラを背景に記念写真



## 広島大学(東広島キャンパス)での総務部長による講義の紹介

令和4年2月2日、広島大学(東広島キャンパス)において、中国四国防衛局深和総務部長より、同大学工学部の学生約50名に対し講義を行いました。

本講義は、安全保障基盤を構築する防衛行政について、業務上で体験したことを中心に、そのダイナミクスを技術的な視点から学生に対し講義して頂きたいとの同大学からの依頼を受け、実施したものです。



※当日は、大学側の協力も得て、コロナ感染防止措置を講じつつ、適切に換気も行い、講義を行いました。

中央・地方で培った経験に基づく深和総務部長による約1時間半の講話に、真っ直ぐな眼差しで聴講する学生の皆さんから多くの質問が寄せられ、とても刺激を受けていた様子がうかがえました。

今後も当局では、我が国の防衛行政、当局の取り組みなどの様々なニーズにお応えすべく当局の職員を派遣いたしますので、お気軽にご相談ください。



## 中国四国防衛局 人事異動の御挨拶(令和4年1月14日付)

1月14日付で総務部長に着任しました深和岳人です。

前職では北関東防衛局において陸上自衛隊V-22の木更津駐屯地への暫定配備などの業務に携わっておりました。

当局管内には、海上自衛隊呉地方総監部(広島県呉市)、陸上自衛隊第13旅団司令部(広島県海田町)、同第14旅団司令部(香川県善通寺市)を含む陸海空自衛隊の基幹部隊、岩国航空基地などの在日米軍といった、我が国の安全保障上、極めて重要な防衛施設が多数所在しております。これらの所在・運用に伴う諸課題への対応を担う当局の使命を自覚し、日々の業務を務めてまいります。

中国・四国地方9県を管轄する当局での勤務は初めてとなります。管内には我が国の生い立ちを語る上で重要な歴史、我が国の防衛を語る上で重要な旧軍史跡などが多数所在しており、酒どころを含め、これらへの見聞を深めてまいりたいと思います。どうぞよろしく願います。

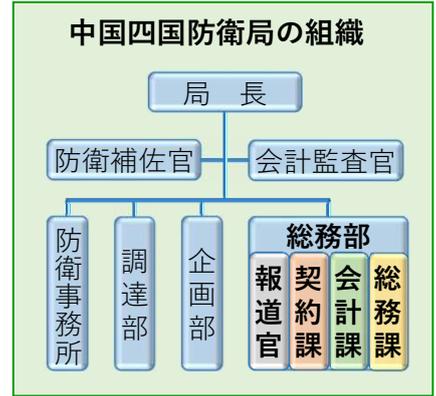


ふかわがくと  
(総務部長 深和 岳人)



## 中国四国防衛局 総務部の御紹介

総務部は、総務課、会計課、契約課及び報道官の3課1官で構成されており、局内事務の総合調整、人事管理、会計業務、情報公開、広報などに関する業務を行っています。今回は、これら総務部の各課等の業務について御紹介します。



**総務課** は、当局の総合窓口であり、文書の管理や審査、職員の採用や人事管理、福利厚生や保健衛生、情報システムの管理、情報公開に関する事務、自衛隊の部隊等との連絡調整等を行っています。

**会計課** は、当局の業務に係る経費及び収入の予算・決算及び会計に関する事務、職員の給与の支給に関する事務、庁舎等の管理、物品の管理等の事務を行っています。

**契約課** は、当局が実施する建設工事等に係る入札の公告・執行・契約に関する事務、入札参加を希望する建設業者等の競争参加資格の審査窓口、入札・契約の適性化のため設置されている第三者機関である入札監視委員会の庶務等を行っています。

**報道官** は、当局に対する御意見、問い合わせ等への対応、関係部署との連絡調整、局広報紙の編集・発行や局ホームページの更新など、当局の広報活動を行っています。



説明受け中の向井総務課長



## 中国四国防衛局 職員日記(総務部)

私は令和2年4月から契約課にて契約等業務に携わっています。ここ広島での勤務で全国にある地方防衛局のうち6局・1支局を経験したことになります。転勤は引越など煩わしいこともありますが、名物を現地で味わうことや名所を巡る喜びと持物の整理の機会にもなっています。

職務の大半を防衛技官として防衛施設の建設工事等の設計・監督・検査等に従事してきました。今まで印象に残る仕事として、東北防衛局の勤務時に東日本大震災があり、自衛隊施設の復旧事業に取り組んだことでした

震災直後に松島基地へ技術的な支援のため派遣され、応急危険度判定士として被災した自衛隊施設の危険度判定を行いながら応急復旧工事に従事しました。入浴支援として津波により浸水した浴場の早期復旧に努め、地域の皆様の入浴後の笑顔と感謝の言葉は今でも鮮明な記憶として残っています。

復旧事業中に転勤になり、同局の広報紙(第34号)に掲載の東日本大震災5周年追悼式(松島基地復興)で復旧事業が完成したことには安堵しました。同震災では宮城県でも名産である牡蠣の養殖が壊滅的な被害を受けましたが、広島県からの養殖業者等の支援により見事に復活したことを今更ながらニュースで拝見したときは目頭が熱くなりました。

自宅のそばにある黄金山は広島市内を一望できる眺望スポットで、宮島と共にお気に入りです。ここには福島県三春町の「三春滝桜」から増やした木が植樹されています。このような東北復興への願いがある広島でコロナ禍ですが生活を楽しんでいます。



(契約課 相馬 幸仁)



# 中国四国防衛局 広報誌編纂委員の旅日記

前号でも当局管内の魅力について、幾つか紹介させて頂いたところですが、今号でも、地域の魅力について御紹介させて頂きます。今回は山陰地方です。

山陰地方は、多くの神話や、因幡の白兔などの古社、妖怪、もののけなど、この地ならではの魅力溢れる地域が多数あります。

また、山陰に所在する自衛隊施設についても御紹介すると、当該地域には、旧暦10月八百万の神々が集まる出雲大社近くに「陸上自衛隊出雲駐屯地」、今年初め、トンガ王国における国際緊急援助活動として、飲料水など支援物資の輸送を行ったC-2輸送機が所属する「航空自衛隊美保基地」等がそれぞれ所在しており、地元の皆様の御理解・御協力の下、活動を行っています。



筆者(藤田報道官)



©水木プロ

**鳥取県境港市**は、ゲゲゲの鬼太郎で有名な街でもあります。日本有数の水揚げ港でもあり、国際旅客船も寄港します。日本海という荒々しい波を想像しますが、市に隣接する中海の水面はいつも穏やかで、訪れる度、私自身心が静寂な気持ちになります。

またペーロン船による大会は、我が故郷(兵庫県相生市)にも通ずるものがあり、個人的にはとても親近感を覚えたところでした。

市中心街の水木しげるロードでは、数多くの妖怪が出迎えてくれます。昼間の散策もいいのですが、夜は浮かび上がる影絵が、大人も子供も妖怪の世界に連れていってくれます。



©水木プロ



©水木プロ

商店街の影絵の「ある仕掛け」は、是非訪れて見つけて下さい。妖怪に出会えると思います。

現在、同市役所近郊では、まちづく支援事業(交流拠点施設)として、図書交流広場等を含む複合施設を建設中であり、今春完成予定です。当局では、平成28年度から補助事業として当該施設への支援を行っているところですが、完成後、多くの市民に活用され、更なる境港市の魅力発展に繋がればと願っています。

また、**山口県萩市**も訪れました。旧家屋の街並み、ときおり顔を出す蜜柑とのコントラストは、多くの志士達が日本の礎を築いた時代へタイムスリップしたかのような気持ちになりました。

今回、幾つか訪れた史跡の中で、日本一有名な学び舎がある松蔭神社について御紹介します。

訪れた松蔭神社の鳥居をくぐり松下村塾までの道程、吉田松陰先生の語録が展示されています。有名な言葉は数あれど、私が足を止めたのは「人は人の心あり 己は己の心あり 各々其の心を心として以て相交わる 之れを心交と謂う」という言葉でした。私たち防衛局の仕事は1人で完遂することはできません。仕事に限らず、心交の先に生まれてくる関係性がいつの時代でも大事なんだと痛感したところでした。またこの言葉が松蔭先生27歳の時の言葉ということにまた痺れました。

萩市内には偉人の足跡が数多くあります。その中に、高杉晋作の有名な言葉「面白き こともなき世に 面白く」があります。受け止め方はそれぞれだと思いますが、私は、人生を楽しく生きるそんな気持ちを大事にしたいと、高杉家の生家を訪れ、過去に思いを馳せたところです。



当局管内には、歴史、食、文化、偉人等々、魅力溢れる地域がたくさんあります。是非、みなさんの好奇心を奮い立たせる探訪をお勧めします。